

## No 40.

**(1) [比較対象の把握①]**

① In college classes in America a higher value is placed upon efficiency and directness of expression than on certain forms of politeness that are observed in other countries.

→ アメリカの大学の授業では、他国で見られるある種の礼儀の形式よりも、効率性や表現の直接性に、より高い価値が置かれている。

◎文法解説:

- ・ a higher value が主語。受動態の文だが、意味上は「人々が～に高い価値を置く」という主語の位置にある。
  - ・ 比較対象は「efficiency and directness of expression」と「certain forms of politeness」で、どちらも前置詞句(upon A / on B)で文法的に対等。
  - ・ place a value upon A:「Aを重視する」。同義語:put emphasis on A, attach importance to A。
  - ・ directness of expression:「表現の直接性」。
  - ・ certain:「ある特定の～」。ここでは限定用法(名詞を修飾)。
    - 限定用法:a certain person「ある特定の人」
    - 叙述用法:I'm certain of his success.「私は彼の成功を確信している」
    - 用法で「特定の」⇔「確信している」と意味が異なる。
  - ・ that are observed in other countries:関係代名詞節で politeness を修飾。「他国で見られる礼儀の形式」。
- 

② If a professor asks students whether they have understood an explanation he has given, he wants a straightforward 'yes' or 'no'.

→ 教授が学生に、自分の説明を理解したかどうかを尋ねるとき、教授が求めているのは率直な「はい」か「いいえ」である。

◎文法解説:

- ・ whether 節=「～かどうか」を導く名詞節(askの目的語)。
  - ・ 直接話法にすると:The professor said to the students, "Have you understood the explanation I have given?"
    - これが間接話法では whether 節(間接疑問)になる。
  - ・ he has given:現在完了。「すでに与えた説明」。
  - ・ straightforward:「率直な、回りくどくない」。straight(まっすぐ) + forward(前へ)。
- 

**(2) [比較対象の把握② that ... / those ...]《金沢大》**

## Supplementary notebook

① In most cultures, both parents invest heavily in their children.

→ 多くの文化では、両親ともに子どもに多大な投資をしている。

◎文法解説:

- invest heavily in A:「Aに多くの労力・時間・資金を注ぐ」。
  - invest の語源:ラテン語 *in-*(中に) + *vestire*(衣服を着せる)→「中に着せる」=「資源・力を注ぎ込む」の意。
  - both parents:「両親ともに」。both A and B の略式。
- 

② However, men's investment of time in direct child care is generally less than that of women.

→ しかし、直接的な育児に費やす時間の投資は、男性の方が一般的に女性より少ない。

◎文法解説:

- less than:「～より少ない」。
  - 比較対象は「men's investment of time」と「that of women」。that は investment(単数)を指す。
  - However は接続副詞(=文と文をつなぐが、文節内で位置自由)。  
→ 例:He is poor. However, he is honest.(彼は貧しい。しかし、正直だ。)
  - 接続詞の however(=譲歩節を導く)は文頭固定。  
→ 例:However hard he tries, he cannot win.(どんなに努力しても、彼は勝てない。)
  - この文の however は前者(接続副詞)であり、独立文同士をつなぐ。
- 

③ This is an evolved strategy that reflects specialization of labor between the sexes.

→ これは、男女間の労働分業を反映した進化上の戦略である。

◎文法解説:

- that reflects ...:関係代名詞節。
  - reflect A:「Aを反映する」。
  - specialization of labor:「労働の分業」。
  - This の指示内容:前文「男性と女性の育児への投資の差」全体。すなわち「男性が保護と資源を、女性が直接的な育児を担う」という構造。
- 

④ The man provides protection and resources, whether meat in primitive ages or salary in modern days, while the woman does most of the direct care.

→ 男は原始時代なら肉を、現代なら給料を与えるという形で保護や資源を提供し、女は育児の大部分を担っている。

◎文法解説:

- provide A:「A を与える」。
  - whether A or B:「A であれ B であれ」。譲歩を表す副詞節(「A であっても B であっても〜」)。  
→ 「どちらの場合でも〜である」ことを示す。
  - primitive ages:「原始時代」。
  - while:「一方で」。対比の接続詞。
- 

### (3) [比較級 … than S think]

① These days, many products are nearly identical to one another in quality and price.

→ 今日では、多くの製品が品質や価格の点でほとんど同じである。

◎文法解説:

- nearly = almost:「ほとんど」。副詞。意味・使い方ともほぼ同義。  
→ only slightly less formal than almost(若干くだけた表現)。
  - identical to A:「A とそっくりである」。語源はラテン語 *identitas*(同一性) → identity(同一)と同根。
  - in quality and price:「品質と価格において」。in = 「〜の点で」。
- 

② If products are almost the same, what makes consumers buy one brand instead of another?

→ 製品がほとんど同じなら、なぜ消費者は他ではなくあるブランドを選ぶのだろうか。

◎文法解説:

- what makes A do:「何が A に〜させるのか」。
  - instead of A:「A の代わりに」。
- 

③ Although we might not like to admit it, commercials on television and advertisements in magazines probably influence us much more than we think they do.

→ 認めたくはないかもしれないが、テレビや雑誌の広告は、私たちが思っている以上に私たちに影響を与えているのだろう。

◎文法解説:

- Although we might not like to admit it:譲歩節。
  - influence O:「O に影響を与える」。
  - much more than we think (they do):「私たちが思うよりもずっと」。  
→ than 節内の they do は、…than we think they influence us を表す。
-

Supplementary notebook

(4) [less ... than ~]《九州大》

① The researchers then followed up with the participants every two years, contacting them to assess changes in their physical and mental functioning.

→ 研究者たちはその後、2年ごとに参加者を追跡し、身体的および精神的機能の変化を評価するために連絡を取った。

◎文法解説:

- follow up with A:「Aを追跡調査する」。
  - contact A to V:「AにVするために連絡する」。
  - every two years:「2年ごとに」。every は「ごとに繰り返す周期性」を表す限定詞。  
→ 例:every three days(3日ごとに)。  
each は個別を強調、every は全体の周期を強調。
- 

② At the end of the study, 319 participants had developed dementia, including 221 with Alzheimer's disease.

→ 研究終了時には、319人の参加者が認知症を発症しており、そのうち221人がアルツハイマー型であった。

◎文法解説:

- including ~:「~を含めて」。現在分詞による挿入句。
  - dementia:語源はラテン語 *de-*(離れて) + *mens, mentis*(心・精神) = 「理性から離れた状態」。  
→ mental(精神の)と同語根。
- 

③ The research subjects with higher physical function scores at the start of the study were three times less likely to have developed dementia than those with lower initial physical function scores.

→ 研究開始時に身体機能スコアの高かった被験者は、スコアの低かった人々に比べて、認知症を発症する可能性が3分の1ほど低かった。

◎文法解説:

- less likely to V:「Vする可能性が低い」。
- three times less likely:「~の3分の1の確率で」。
- than those with lower ...:比較対象は「those(人々)」+修飾語 with lower physical function scores.
- subject:多義語。「①被験者(=ここでは research subjects)」「②主語」「③主題」。文脈で意味が変わる。  
→ 同語源はラテン語 *sub-*(下に) + *iacere*(投げる) = 「支配のもとに置く」。